

文章検

2022年度

漢検

公益財団法人

日本漢字能力検定協会

〔不許複製〕

文章読解・作成能力検定準2級E 標準解答

合否その他に関する問い合わせには一切応じられません。

検定日
2023年
1月18日



第1問 【30点】

問1 1 エ 2 ウ 3 エ 4 イ 5 ウ

問2 1 ウ 2 イ 3 ア

第2問 【30点】

問1 ウ

問2 イ

問3 イ

第3問 【30点】

問1 ウ

問2 エ

問3 ア

第4問 【40点】

問1 1 熱→厚

2 まいられます→まいます

3 水産物

問2

解答例

私は、最初、貿易業では何をおいても語学力が大切だと考えていました。しかし、今回、指導していただいたことをきっかけに、気づいたことがあります。それは、語学力以上に調整力が大切であるということです。

(25字×4行)

裏へ続く

記述問題の採点チェックポイント

第4問 問2 (25点)

チェックポイント	配点
(1) 3文の順序・つながりの言葉が適切であるか	8
(2) メモの内容すべてを、手紙の文章としてふさわしい表現で書いているか	12
(3) 誤字や脱字、文法のミスがないか	5

第5問 (70点)

作成例にある記号の意味

A: 事実 **B**: 意見 **C**: 理由 **D**: 異なる意見とそれに対する反論

チェックポイント	配点
構成：事実・意見・理由・異なる意見とそれに対する反論の4段落になっており、段落の関係は論理的であるか	20
第1段落：事実は具体的で、イメージが思い浮かぶようなものであるか	10
第2段落：自分の意見が、はっきりと示されているか	5
第3段落：意見に納得できるように、理由が説明されているか	10
第4段落：異なる意見は反対の立場のもので、それを否定する反論が述べられているか	5
表記：誤字脱字などのミスがないか	10
表現：語句の誤用、文法の誤りなどのミスがないか	10

* 行数不足、行数超過は採点対象外(0点)です。
実際の採点では部分点等を規定しております。

作成例1 「連れて行かない方がよい」立場

久々に友達と美術館へ出かけたところ、幼い子どもを連れて人がいるのを見かけた。その子は大きな声で歌を歌いながら会場を走り回り、あちこちで人にぶつかっていた。それを見ていた美術館のスタッフに、走ってはいけないと注意されると、今度は大声で泣き出した。最終的には、保護者がかまえて退館して騒ぎは収まった。しかし、それまでの間、私たちは絵に集中することができず、貴重な時間が無駄になった気がした。

美術館や博物館で年齢制限を設けていることはまだだと聞く。それでも、幼い子どもを連れて行かない方がよい。

幼い子どもにとって長時間静かに鑑賞することはつらいことだ。つい大声を出したり騒いだりするので、周りの人は落ち着いて鑑賞できなくなる。幼い子どもを連れて行く側からしても、周りの人に迷惑をかけることが気になってしまい、落ち着いて鑑賞できない。

一方で、幼いころから美術館や博物館で本物を見せることで感性を高めることができるから、幼い子どもを美術館や博物館に連れて行くことよいという意見もある。ところが現実には、本物の素晴らしさに感動して、歓声をあげたり、作品に触ったりするとしかられる。そのように、素直な感情を出すとしかられるような環境では、子どもの感性が高められることはない。

(25字×23行)

作成例2 「連れて行ってもかまわない」立場

両親が美術好きで、私は幼いころからよく美術館に連れて行ってもらった。最初のうちは、絵を見て歩くのが退屈で、走り回りたくなったりした。しかし、作品を静かに見ることだけでなく、その作品にまつわる話を教えてくれた。それで、私は少しずつ興味をもつようになった。そのうち、作品テーマの取り上げ方や描写のタッチについて、作者による違いも気になるようになった。親に質問してわからないときは、家に帰ってから自分で調べた。そして、高校生の今は、美術部に入って絵を描いている。昨年は絵画コンクールで入賞した。

小さいときから美術館に行ったことがよい結果を生んだのだ。美術館や博物館に幼い子どもを連れて行くことには批判もあると聞くが、私は自分の経験から、連れて行ってもかまわないと思う。

美術館や博物館は、幼い子どもの感性を高めるのにふさわしい施設である。そこで、子どもはすぐれた作品や展示物を見て、大人に質問したり大人と会話したりすることによって、感性がより磨かれることになる。

美術館や博物館では、静かにできない子どもがいて、周りの鑑賞者に迷惑をかけるから、幼い子どもを連れて行かない方がよいという人もいる。しかしそういうときこそ、鑑賞マナーを教えるいい機会になる。幼いころからマナーを身につければ、他人に迷惑をかけることはなくなる。

(25字×24行)

文章検

2022年度

漢検 公益財団法人 日本漢字能力検定協会 不許複製
文章読解・作成能力検定 3級E 標準解答

合否その他に関する問い合わせには一切応じられません。

検定日
2023年
1月18日



第1問 【30点】

- 問1 1 イ 2 ア 3 ウ 4 ウ 5 ウ
- 問2 1 ア 2 イ 3 ウ

第2問 【30点】

- 問1 イ
- 問2 エ
- 問3 ウ

第3問 【30点】

- 問1 エ
- 問2 エ
- 問3 ア

第4問 【40点】

- 問1 1 情 ↓ 常
- 2 ご来場してください ↓ ご来場ください
- 3 しかし

問2

解答例

それまでは以前より腕が上がったと思っていました。しかし、先輩のご指摘によって技術面や視点の甘さに気づくことができました。おかげで、今後どのように作品作りをしていけばいいか考えることができました。

裏へ続く

記述問題の採点チェックポイント

第4問 問2 (25点)

チェックポイント	配点
(1)内容のまとめりごとに分割されているか	8
(2)傍線部の内容すべてを、手紙の文章としてふさわしい表現で書いているか	12
(3)誤字や脱字、文法のミスがないか	5

第5問 (70点)

作成例にある記号の意味

A: 事実 **B**: 意見 **C**: 理由

チェックポイント	配点
構成：事実・意見・理由の3段落になっており、事実/理由が意見に結びつくものになっているか	20
第1段落：事実は具体的で、イメージが思い浮かぶようなものであるか	10
第2段落：自分の意見が、はっきりと示されているか	10
第3段落：意見に納得できるように、理由が説明されているか	10
表記：誤字脱字などのミスがないか	10
表現：語句の誤用、文法の誤りなどのミスがないか	10

* 行数不足、行数超過は採点対象外(0点)です。
実際の採点では部分点等を規定しております。

作成例1 「こちらから働きかけるのがよい」立場

中学のころ、友人が暗い顔をしていたことがあった。元気がない状態が何日も続いたので、「悩みがあれば聞くよ」と言うと、友人はほっとしたように「実は」と話し始めた。部活動の先輩との関係が悪くなってしまう、どう修復すればよいか悩んでいるということだった。それを聞いて、私もいっしょに解決策を考えたり、友人をなぐさめたり励ましたりした。それから一か月ほどで問題は解決し、そのときに友人に「悩んでるって気付いてくれてありがとう。自分からは言い出せなかったから、そっちらから聞いてくれてありがとう」と言われた。

このように、いっしょに悩みについて考えることで解決の糸口がつかめることもある。友人が悩んでいるように見えたときは、こちらから働きかけるのがよい。

悩みをだれかに打ち明けると、その相手に同じ悩みを共有してしまうことにもなる。相手が友人なら、その負担をかけたくないと考えると遠慮もするだろう。悩んでいる当人からは打ち明けにくいことだ。こちらから働きかけることで、悩みを共有する気があるから遠慮なく話していいという気持ちを伝えることができる。

(25字×19行)

作成例2 「こちらから働きかけるのはよくない」立場

半年ほど前、友人に「悩みがあるんじゃないか」と聞かれた。確かに私にはそのとき悩みがあった。だが、それは家族に関することで、友人に知らせたい内容ではなかったから、「何もない」と答えた。しかし、友人はそれから「友達なんだから相談してくれ」と言い続けた。それでも私が何も打ち明けないでいると、「信頼してくれないのか、頼ってくれないのか」と怒ったり嘆いたりするようになった。だが私の方でも、悩みを聞き出そうとする友人が無遠慮で無神経な人間に思えてきて、それから互いに距離を置くことになってしまった。

友人は好意から言ったのだろうが、私はうんざりしていた。友人が悩んでいるように見えたとしても、悩みを打ち明けようこちらから働きかけるのはよくない。

悩みと一言で言っても、その内容はさまざまだ。何もかも打ち明けられるようなものではない。友人だからとか、力になりたいからだとか言って打ち明けよう働きかけるのは、打ち明けたくない悩みを抱える者にとって好意の押しつけに感じられ、迷惑になる。

(25字×18行)

文章検

2022年度

漢検 公益財団法人 日本漢字能力検定協会 不許複製
文章読解・作成能力検定 4級E 標準解答

合否その他に関する問い合わせには一切応じられません。

検定日
2023年
1月18日



第1問 [40点]

- 問1 1 イ 2 イ 3 ウ 4 イ 5 ア
問2 1 ウ 2 ア 3 ア 4 ウ 5 イ

第2問 [20点]

- 問1 ウ
問2 イ

第3問 [40点]

- 問1 ア
問2 イ
問3 ア
問4 ウ

第4問 [40点]

- 問1 エ
問2 ア
問3 ア

問4

解答例

竹内さんのお店が今月末で閉店だと知って、ほんとうに驚きました。できれば、直接、お会いしてお礼を申し上げたいと思いました。ですが、月末まで都合のつく日がなく、伺うことができません。

(25字×4行)

裏へ続く

記述問題の採点チェックポイント

第4問 問4 (25点)

チェックポイント	配点
(1) 3文の続き具合が不自然でないか	6
(2) メモの内容すべてを、手紙の文章としてふさわしい表現で書いているか	14
(3) 誤字や脱字、文法のミスがないか	5

第5問 (60点)

作成例にある記号の意味

A: 事実 **B**: 意見

チェックポイント	配点
構成: 事実・意見の2段落になっており、事実は意見を支えているか	20
第1段落: 事実は具体的で、イメージが思い浮かぶようなものであるか	10
第2段落: 自分の意見が、はっきりと示されているか	10
表記: 誤字脱字などのミスがないか	10
表現: 語句の誤用、文法の誤りなどのミスがないか	10

* 行数不足、行数^{ちょうか}超過は採点対象外(0点)です。
 実際の採点では部分点等を規定しております。

作成例1 「注意した人にたずねるとよい」立場

A 私は、電子ピアノのレッスンを受けている。あるとき、私は先生から「そこはなめらかさが足りない」と注意された。うまく弾けていないことは自分でも分かるのだが、どうすればよくなるのかは分からなかった。それでも、自分なりに考えて、いろいろ練習したのだが、やはりうまく弾けなかった。そこで、先生にどうすればよくなるのかをたずねた。すると、先生は、左手の指の動かし方についてちょっとしたコツを教えてくださいました。その教えに従って弾くと、自分でもおどろくほどうまく弾けた。

B 自分の悪いところを指摘されたとしても、それを自分の力で乗り越えるのはなかなか難しい。指導者や先輩から受けた注意に対して、どうすればよくなるのか分からないときには、注意してくれた人にたずねるとよい。
 (25字×13行)

作成例2 「自分で考えるとよい」立場

A 私は、学校のサッカー部に属していて、入学以来ずっと公式戦のメンバーに選ばれてきた。ところが、ある日、コーチから「今のままでは、大会のメンバーに選ばれないぞ」と注意された。私は、なぜ選ばれないのか、どうすれば選ばれるのか、分からなかった。そこで、自分なりに考えてみよう、これまで出場した試合の動画で、自分のプレーを見返した。すると、私は、自分のプレーばかりに集中して、他の選手との連携をおろそかにしていた。そこから私は、チーム全体のためにプレーすることが何よりも大切だと気づいた。この気づきは、単にメンバーに選ばれること以上に、私自身の成長につながったと思っっている。

B このように、受けた注意に対して、自分自身で考えることによって単なる解決策以上に大切なことに気づくことができる。注意に対してどうすればよくなるのか分からないときには、自分で考えるとよい。
 (25字×16行)